

平成27年度上期「米子市淀江農林産物直売施設」モニタリング評価表〔平成28年1月〕

施設名	米子市淀江農林産物直売施設 「淀江どんぐり村」	
施設所管課	淀江支所よどえまちづくり推進室	
指定管理者名	団体名	本宮観光農事組合
	所在地	米子市淀江町本宮297
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	
選定方法	非公募	
施設の設置目的	本市の農林業及び観光の振興を図る	
主な実施事業	農林産物直売施設、レストランの営業	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	聞き取り調査による
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	聞き取り調査による
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	聞き取り調査による
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料等確認
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	聞き取り調査による
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	聞き取り及び資料確認
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	聞き取り及び立ち入り確認
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	聞き取り及び立ち入り確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	聞き取り及び立ち入り確認
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	聞き取り及び資料確認
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	聞き取り調査による
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	聞き取り調査による
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具	B	聞き取り及び資料確認

	体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	立ち入り確認
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	聞き取り及び立ち入り確認
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	聞き取り及び立ち入り確認
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	聞き取り及び立ち入り確認

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4		

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>景気低迷や、近隣同類店舗との競合、地元農家の高齢化・廃業など厳しい経営環境のなか、品質本位、特徴ある品揃え、搬入困難者への集荷訪問等により持続経営に向け努力されている。</p>	<p>合計点 57点/95点 ×100＝60点 平均点 3点</p>
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年1～6月〕 A	前年度〔平成26年1～6月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	153	153	0、100.0 (%)	
施設利用者数	55,500	63,000	-7,500、88.1 (%)	
施設稼働率	100.0	100.0	0.0、100.0 (%)	
事業開催数	—	—	、 (%)	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年1～6月〕 A	前年度〔平成26年1～6月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	0	0	、 (%)	
指定管理料	0	0	、 (%)	
自主事業収入	17,139,764	18,218,804	-1,079,040、94.1 (%)	
			、 (%)	
			、 (%)	
			、 (%)	
その他雑収入	161,070	99,898	61,172、161.2 (%)	
合計	17,300,834	18,318,702		

(2) 支出

項目	本年度〔平成27年1～6月〕 A	前年度〔平成26年1～6月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	3,917,537	3,938,980	-21,443、99.5 (%)	
消耗品費	97,719	50,592	47,127、193.2 (%)	在庫、購入時期による
光熱水費	475,047	509,824	-34,777、93.2 (%)	
減価償却費	154,200	187,800	-33,600、82.1 (%)	
通信費	61,770	81,759	-19,989、75.6 (%)	電話利用実績による
仕入費	13,033,623	13,763,365	-729,742、94.7 (%)	
その他	1,346,867	1,258,068	88,799、107.1 (%)	
合計	19,086,763	19,790,388		

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成27年1～6月〕 A	前年度〔平成26年1～6月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
①事業収支	-1,785,929	-1,471,686	-314,243、— (%)	
②利用料金比率	—	—	、 (%)	
③人件費比率	0.205	0.199	0.006、103.0 (%)	
④外部委託費比率	0.000	0.000	0.000、— (%)	
⑤利用者当たり管理コスト	343.9	314.1	29.8、109.5 (%)	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	—	—	、 (%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施）

項目	平成〇〇年	平成〇〇年	平成〇〇年	平成〇〇年	平成〇〇年	備考
①自己資本比率						
②流動比率						
③固定長期適合率						
④総資産経常利益率						
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

特になし
